

県立高校の活性化について

- 1 高校の進路状況からみた学校（学科）の特性 <1/9頁>
- 2 普通科の活性化について <2/9頁>
 - ・「進学指導推進事業（仮称）」について
- 3 小規模化の進展が懸念される高校における取組について
 - ・不破高校の取組 <3,4/9頁>
 - ・八百津高校の取組 <5,6/9頁>
 - ・恵那南高校の取組 <7,8/9頁>
- 4 岐阜県地方産業教育審議会について
 - ・第1回岐阜県地方産業教育審議会【報告】 <9/9頁>

※ 参考資料「岐阜県高校ガイドブック2017～地域と一体となった活動に取り組む10校～」



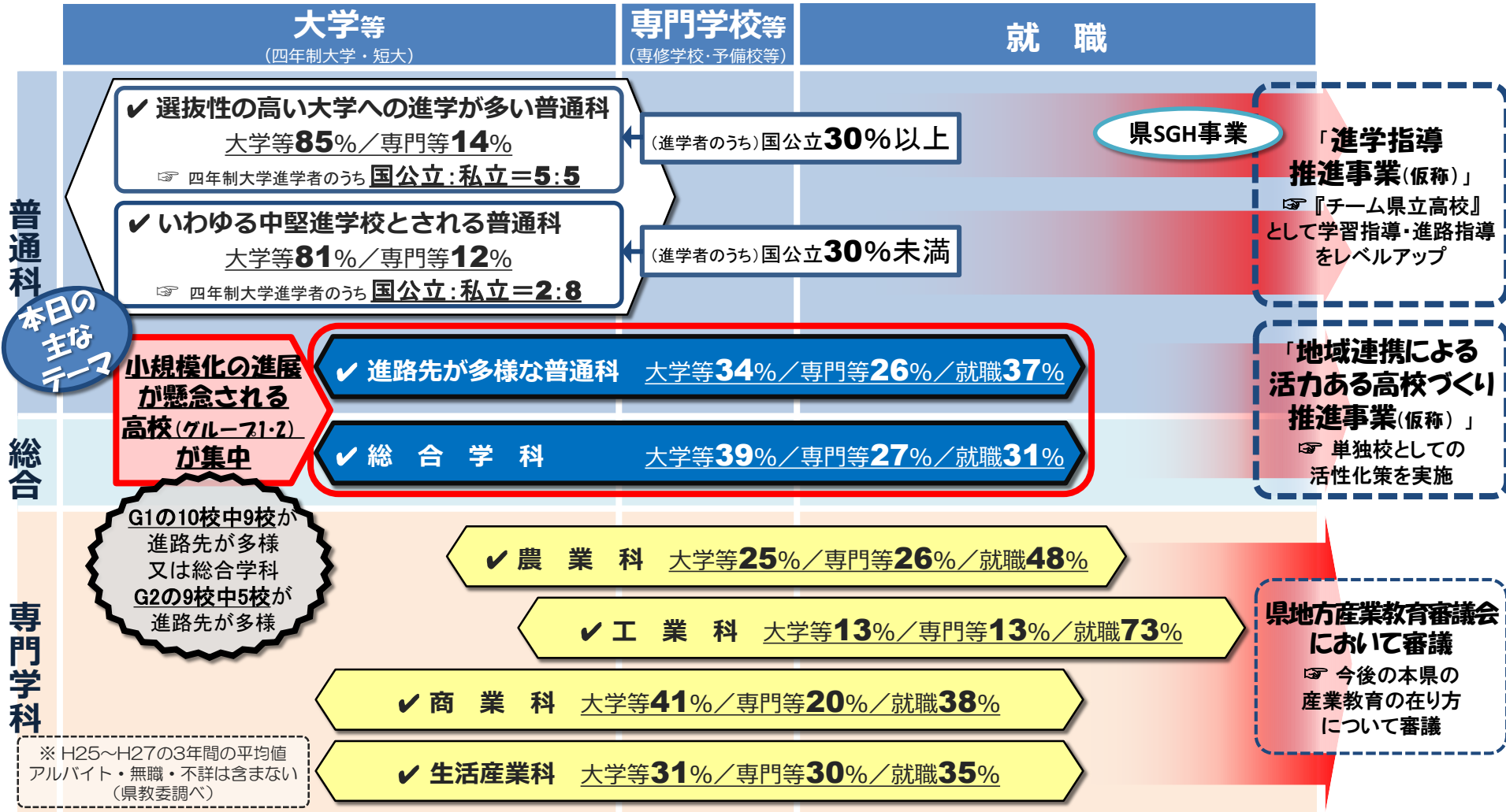
- 学校ごとに協議会（メンバー：保護者、市町村関係者、学校関係者等）を設置し、地域と一体となった活動に取り組んでいる10校を紹介するパンフレット

<掲載校>

不破高校（垂井町）、郡上北高校（郡上市）、八百津高校（八百津町）、東濃高校（御嵩町）、瑞浪高校（瑞浪市）、土岐紅陵高校（土岐市）、恵那南高校（恵那市）、坂下高校（中津川市）、高山工業高校（高山市）、飛騨神岡高校（飛騨市）

- 10校が所在する学区内すべての公立中学3年生に配布

1 高校の進路状況からみた学校(学科)の特性について



普通科
本日の
主な
テーマ

総合

専門学科

※ H25～H27の3年間の平均値
アルバイト・無職・不詳は含まない
(県教委調べ)

- **進路先が多様な普通科は総合学科に近い(商業科や生活産業科にも近い)**
- **小規模化の進展が懸念される高校は、進路先が多様な普通科や総合学科に集中**

2 普通科の活性化について

✓ 「進学指導推進事業（仮称）」について

◆ 普通科を主体とした高校の大学合格状況（H28年度入試とH20年度入試の比較）

		対象校 入学定員	国公立				私立 南山大	
			東京大	京都大	名古屋大	岐阜大		
地域の トップ校	H28. 3卒	3,560	1,776	28	33	148	369	843
	H20. 3卒	3,240	1,901	25	55	206	326	922
中堅 進学校	H28. 3卒	3,720	289	0	0	10	55	223
	H20. 3卒	3,760	613	1	1	19	138	206

進学指導 重点事業

○ 大学進学を主な目的とした普通科がある高校から、**教育環境整備と進路・学習指導を合わせた提案を受け10校を指定**

<取組例>

【ハード】教育環境整備 ☞ 個人学習スペース、エアコン整備など自習室の整備

【ソフト】進路・学習指導 ☞ 放課後や土曜日における学習支援員の配置

☞ 大学教員や専門家の講演等、生徒の知的好奇心の発掘

進学指導 連携事業

○ 他校の生徒と合同で受験勉強に取り組むことなどにより、**効果的な受験対策とモチベーション向上を目指す**

広報事業

○ 県内の全ての中学校3年生（私学を除く）を対象に、**本事業の取組を記載したパンフレットを作成・配布**

3-① 不破高校の取組について

不破郡垂井町

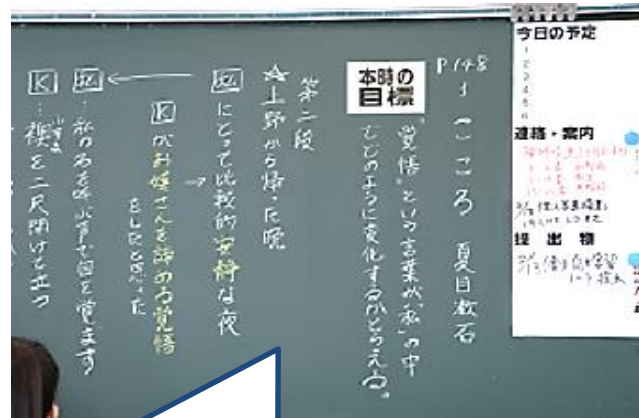
◆ 学校概要

- 単位制普通科（H28年度入学定員120人＝1学年3クラス）
- H27年度より9時始業に変更（広域からも通学しやすいようにするために変更）

◆ 特色のある取組①:きめ細かな授業やユニバーサルデザインによる授業改善・教室環境



- 少人数授業や ティーム
ティーチング（1クラスを
教員2人で担当）による
きめ細やかな授業



- 授業の始めに「本時の目標」
を明確に伝える
- チョークの色は、原則、白と
蛍光黄（必ず色のルールを生
徒に伝える）
- 黒板の下側15cmは使わない
（後列の生徒からも見やすく）



- 掲示物は四隅をきちんと止
める（ラミネート加工）
- 机や椅子に防音キャップ

◆ 特色のある取組②：演劇ワークショップ

※文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業」

- 「文学座(東京都)」の演出家・俳優によるコミュニケーション能力育成のためのワークショップ
- H26年度より実施／1年生全員が年間3回実施（1回あたり80分）
- 「伝えて」「受け取る」ことを主眼に置いたゲーム等を実施



「連想ゲーム」
言葉を繋げる練習



「椅子取りゲーム」
周囲の様子を見ながら
行動する練習

<視察された教育委員より>

- 視察をした80分間だけでも、生徒の対応の変化が感じられた
- 担当以外の教職員にも積極的に参加してもらうことでより深い生徒理解につながる

◆ 協議会（※）における主な意見・提案

※ 協議会：単独校としての活性化策を検討・実施するために組織

- 多様な生徒にきめ細かに対応する高校としての在り方を検討してはどうか
- JR東海道本線・垂井駅から近いことを活かした学校運営をしてはどうか
→ 垂井町：JR垂井駅から高校までの町内巡回バスの運行
- 企業での実習を高校の単位として認めるデュアルシステムを導入してはどうか
- スポーツチャンバラ部や弓道部を強化してアピールしてはどうか

3-② 八百津高校の取組について

加茂郡八百津町

◆ 学校概要

- 普通科（H28年度入学定員120人＝1学年3クラス）
- H16年度より連携型中高一貫教育校（八百津中・八百津東部中）
- H27年度より2年生希望者に対してデュアルシステムを開始

◆ 特色のある取組①：デュアルシステム

- 毎週木曜日1日の企業実習を高校卒業に必要な単位として認める仕組み
- 協力企業23社／参加生徒15名（2年生）



酢の瓶詰め作業中



旋盤に挑戦



保育園実習

＜デュアルシステム実習中の生徒の声＞

- 子供たちの健康管理、安全の手助けをしているので日々緊張です
- 挨拶の重要さを実感しています。ここで就職したいです
- 従業員の方とのコミュニケーションは難しいです

◆ 特色のある取組②：連携型中高一貫教育校／八百津町との連携



町立中学生と高校生（地元中学卒業）との懇談会



八百津町総合文化祭に協力



参議院議員選挙の期日前投票受付事務に協力



町役場職員（八百津高卒業生）とのワークショップ
→「八百津町の新しいお土産」を考案

八百津町職員に
H28は2名、
H29は3名採用(予定)

◆ 協議会における主な意見・提案

- デュアルシステムについて、協力企業の一層の拡大に取り組むべき
- デュアルシステムの魅力を中学生やその保護者に積極的に広報すべき
- 土曜日に八百津高生が小学生の学習をサポートする「土曜学習会・リトルティーチャー」を夏休み等にも拡大してはどうか

3-③ 恵那南高校の取組について

恵那市（明智町）

◆ 学校概要

- 総合学科（H28年度入学定員120名＝1学年3クラス ※来年度募集より80名）
- 設置系列：文系進学系列、理系進学系列、ビジネス系列、情報系列、福祉保育系列
- H19年度、岩村高校と明智商業高校が統合し、明智商業高校の場所に設置

◆ 特色のある取組①：6次産業教育（恵那南高校魅力化プロジェクト）

- 恵那市、恵那川上屋との三者連携協力協定締結（H28.5.6） → 恵那栗の生産、加工、販売
- 地域との連携による学習により、生徒の「主体性・社会性・郷土愛」を涵養

生産（除草、収穫）

加工

商品

販売（大正村浪漫亭）



栗畑の
除草作業



収穫した栗を
大きさに選別



栗の皮むき作業



生徒がデザインしたラベルを貼った
容器に入れて販売（大正村浪漫亭）



<視察された教育委員より>

- 地域と共に活動する姿に共感。栗に止まらず、地域の特産品の取扱についても検討してみてもどうか

◆ 特色のある取組②：進路希望に応じた少人数によるきめ細やかな教育



「福祉実習」
地域の高齢者福祉
施設を訪問



「物理」の授業
国公立大学進学希望者
(2名)が選択



「財務会計」の授業
商業の検定試験に
向けたグループ学習



「放課後英会話講座」
恵那市のALT(2名)が
主に就職希望者対象
(週1回)として実施

◆ 協議会における主な意見・提案

- 総合学科の在り方（製菓、料理、福祉のコース等）を検討してはどうか
- 小・中・高一貫性のあるカリキュラムの作成に取り組んではどうか
- 中高一貫教育校とすることについて検討してもよいのではないか
- 大正村「浪漫亭」（H28. 10. 27にリニューアルオープン）を高校の学習の場として積極的に活用してはどうか

4 岐阜県地方産業教育審議会について

✓ 第1回 岐阜県地方産業教育審議会【報告】 (H28.10.31開催)

◆ 委員からの主な意見

(1) 地域産業を担う専門的職業人の育成について

- 県内の99%を占める中小企業では、専門高校の卒業生を即戦力として期待
- 専門高校生には、ものづくり技術に加えて、コミュニケーション力、企画力、プレゼンテーション能力などを育む教育が必要
- 地元企業を知る機会や本物に触れる機会を充実して、地元で働きたいという思いが生まれるようにしてほしい
- 農業高校については、卒業後に就農へ導くためのルールが必要。林業については、その実態を高校生へPRすることが必要

(2) 異文化理解、国際感覚を有した職業人としての基盤形成について

- 専門高校では、英語や中国語などで、外国人労働者と会話できる程度の語学教育を実施してほしい

(3) 高度な技術・技能の習得に対応した施設設備の整備について

- 工業高校にある設備は、古く老朽化したものが多く、その設備でものづくりを学ぶには無理がある